ロータリーは世界をつなぐ

Rotary

2019-20 年度 国際ロータリー第 2500 地区
米山記念奨学会セミナー報告

ロータリー米山記念奨学会

日　時：2018 年 7 月 21 日（日曜日）
場　所：釧路センチュリーキャッスル釧路（釧路市）
司　会：国際ロータリー第 2500 地区　米山記念奨学会運営委員会　讃岐　武史委員

プログラム

点　　鐘・・・・・　2019-20 年度　吉田　潤司ガバナー
ガバナー挨拶・・・・・　2019-20 年度　吉田　潤司ガバナー
Ⅰ『米山記念奨学事業について』・・・・・・・　石平　清美副委員長
Ⅱ 第 2500 地区米山記念奨学事業概要・・・・　松浦　信一委員長
Ⅲ 2019-20 年度米山奨学生報告 ・・・・・・　過　歆宇　カ・キンウ （中国）
　　金　相徽　キム・サンフィ（韓国）
Ⅳ 質疑応答
点　　鐘・・・・・　2019-20 年度　吉田　潤司ガバナー

奨学生報告　金相徽さん

本日は私が米山奨学金に出会った背景や、奨学生になってからの感想。そしてそれが私の人生にどんな影響を及ぼしたのかについてスピーチさせていただきたいと思います。

私が学校にて、米山奨学金の存在を知ったのは偶然のことでありました。アルバイト募集の掲示板を見ている時、米山奨学生の募集を知らせる資料を目にしました。しかし、当時の私はほぼ申し込むことを諦めていました。私よりずっと優れている方々が沢山いる中で、果たして選ばれることが出来るのだろうかという疑いと、約 1 週間しか残っていない締め切り期限が理由でした。しかし、挑戦せずに諦めるということは臆病すぎると。情けないと思った私は　気を取り直しました。もし奨学生になれないとしても、挑戦するということ自体に意味があると思いました。面接が終わった後は北海道に留学生活を送っているあらゆる国の方々と出会った、かけがえのない経験ができ、とても嬉しい気持ちでした。そして奨学生となってからは「挑戦する」ということの大切さに改めて実感することとなりました。

旭川で大学を通っている私は、当たり前のように旭川クラブの所属になると思っておりました。しかし、なぜか富良野クラブになっていて、とてもびっくりしました。富良野という地名は知っていたものの、どこにあるのか正確な位置さえも把握できていなかったので、場所を調べ、旭川からどうやって行くか、交通手段を調べたりして、とても大変だった記憶があります。

4 月 21 日は帯広で正式な米山奨学生としてのオリエンテーションがあり、20 日に旭川グラブ所属の小滝さんの車に乗って、帯広市へ向かいました。小滝さんとは 2 か月ぶりの再会であって、再び、お会いすることができ、とても嬉しかったです。私のゼミでは、旭川醤油焼きそばを直接販売し、旭川の魅力を広めるという活動をしておりますが、それで旭川の冬まつりの際、出店した時から偶然小滝さんとのつながりが出来ていました。この日は私のカウンセラーである石平さんと初めてお会いできた日でもあって、私にとってはとても特別な日となりました。帯広に着いて、少し落ち着いた後、米山奨学会の皆さんと一緒にお食事をすることとなりました。米山奨学金の面接以来、2 回目訪問した帯広は、

雪が積もっていた冬とはまた少し変わった雰囲気でありました。街の風景を見物しつつ向かった場所は、とてもお洒落なお店で、豪華な食事をご馳走してくださいました。わたしは最初、緊張していたのですが、色んなお話をしていくうちに、自然と楽しくお話することが出来るようになりました。翌日、オリエンテーションが無事終了した後、家に着いてからやっと米山奨学生になったという実感がわいてきました。

私が富良野クラブに初めて訪問したのは５月９日のことでした。富良野行きの電車に乗った時は、面接の場所へ向かうような緊張感や期待感でいっぱいでした。富良野に着いたらカウンセラーの石平さんがホテルの朝ごはんをご馳走してくださいました。納豆と味噌汁付きの和食で、とても美味しかったです。少し早めに着いてたので、例会の前に、少し富良野の街を歩いてみることにしました。とても静かで、何か心が落ち着くような暖かい雰囲気の街でした。短い観光が終わり、例会の場所に向かいました。例会が始まる前に沢山の方々に簡単な挨拶をし、固まった表情で席に座っていたら、人生初めての例会が始まりました。クラブの皆さんが一斉に立ち上がり、時計回りに一人一人の手を握り、握手をしていきました。これは富良野クラブならではの挨拶だそうでした。皆さんは笑顔で「よろしく」と言ってくださいました。皆さんの手はとても暖かいく、握手をしていくに連れ私の緊張もほぐれていきました。この時の記憶はとても強烈で、一生忘れられないことであると思います。

その後も６月、７月の例会に参加させていただき、沢山の経験ができたと思います。７月の 11 日は夜例会に参加したのですが、会の前に石平さんとラベンダーを見に行きました。満開していてとてもきれいでした。写真も撮ることができ、家族にもラベンダーの写真を送るなど、楽しい時間を過ごすことができました。帰りは旭川クラブ所属の石川さんが送ってくださいました。旭川までの１時間半の間、世間話や私の個人的な悩み相談など、初めて会った方とは思えないほど、沢山のお話が出来ました。とても楽しい時間で、あっという間に旭川に着いてしまいました。正式な永山奨学生となり、３ヶ月という短い期間でありましたが、私の人生にとっては莫大な影響を及ぼしたと思います。その中でも、目立つような変化が大きく三つございまして、ご紹介させていただきたいと思います。

その１つ目は「沢山の方に出会い、視野が広がった」ということです。私はもともと、年配の方のお話を聴くことがとても好きです。こういう私に対して友達は、「最近の若者らしくない」と冗談半分で言ったりします。しかし、年配の方の色んなお話が聞きたいと思っても、なかなか難しいのが現実であります。しかし、ロータリークラブには沢山の経験を積み上げてきた方々が沢山いらっしゃいまして、毎回色んな話題でお話をすることが出来ます。知識が豊富な方がとても多いので、真剣な話ではないにも関わらず知識となり、人生の勉強にもなります。私がしゃべる時はたまに変な日本語になってしまいますが、皆さんは常に笑顔で話を聞いてくださり、真剣に答えてくださるので、いつも楽しくお話することが出来ます。私はこういった会話が思いっきりできる、米山奨学生という身分である現在が、人生にかけがえのない時間であると思っております。

そして２つ目は「常に責任感を持ち、誇りや自信を持って行動するようになった。」ということです。私は日本という国で韓国を代表した学生ということを常に意識することとなりました。それによって自分の行動や言葉が韓国のイメージを決めると思い、それを常に心掛け、生活するようになりました。米山奨学生になったことは自分に自信を持つことになった一つのきっかけとなりました。米山奨学生になるまでは自分自身にそこまでの自信を持っていなかったので、何かに対して果敢に挑戦することをためらっていました。いつも自分のことを優れている他人と比較してしまい、「私で大丈夫かな」という劣等感が私の中には常に存在していたのです。しかし、大事なのは他の人と比較するのではなく、「自分が持っている強みや自分ならではの魅力を活かし、自信をもって最善を尽くすこと」ということに気付きました。この変化は、私が就職活動を行う中で最も発揮できたことであると思います。こういう変化がなかったとしたら、面接などですぐ落ちてし

まったのではないかと改めて感じています。

そして最後の３つ目は「金銭的な負担が減り、日本での就職活動に専念することができるようになった」ということです。３年生が終わる頃、私は将来について不安しかございませんでした。アルバイトと共に就職活動を並行するには就職活動がうまくいかない気がしました。アルバイトをやめ、就職活動に専念してしまったら、また親のすねをかじることになってしまうと思い、卒業してから帰国して就職するということも考えておりました。その時に米山奨学金の合格は私の人生を変えたと言っても過言ではないと思います。私はアルバイトをやめ、奨学金で生活ができるようになり、日本での就職活動に専念することが出来るようになりました。時間に余裕ができ、適性検査の勉強や自己分析、企業研究などがしっかりできました。結果としてはエントリーした４社の中、全ての会社から内定を頂けるようになり、最終的には新千歳空港ビルディング株式会社に、旭川大学生としては初めて入社することになりました。米山奨学金があったからこそ、自分の行きたかった会社に堂々と内定をもらうことが出来たと思っております。

就職活動が終わり、学生生活と共に米山奨学生としての時間が約８か月残りました。ロータリークラブでまたどんな新しい経験ができるか、どんな新しい出会いが待っているか期待に溢れています。学校ではゼミ活動やサークル活動をメインとした、学生にしかできないような経験を沢山しつつ、残りの学校生活を送っていきたいと思っております。

司会進行　讃岐　武史委員

挨拶　吉田　潤司ガバナー

会場風景

『米山記念奨学事業について』　石平　清美副委員長

第 2500 地区米山記念奨学事業概要
松浦　信一委員長

会場風景

奨学生報告　過歆宇さん（中国）

2019/07/21　米山セミナー

米山記念奨学会2500地区概要

RI2500地区米山記念奨学会運営委員会

委員長　松浦　信一（北見西RC）

本日お話しさせていただくこと

- 出来るだけ多くの皆様方に、米山記念奨学会に対するご協力をいただけるようにお願いすること。

一円でも多い普通寄付と
特別寄付のご協力をお願いすること

今年度奨学生（新規）

米山奨学会の目的は

- 留学生の優れた学業の達成を支援し、同時にカウンセラーや世話クラブとの交流を通じ、ロータリー精神を学び、国際理解を深め日本と母国との懸け橋となるなど国際親善に尽くす人材を育てることを目的とする。

米山記念奨学会の特徴

- **日本のロータリーが作り育てた独自事業**
  - **東京RCの事業「米山基金」からスタート**
  - **日本のロータリーが世界に誇れる「多地区合同奉仕活動」**
  - **ご存知ですか？あなたも支援者の一人です**

米山記念奨学会の特徴

- **世話クラブ・カウンセラー制度**
  - **他の奨学団体にはない、ロータリーならではの特長。**

本当の日本の社会を知ることができた

自分のことしか考えていなかった私を広い世界へ導いてくれた

自分のためだけではなく、お世話になっている日本の人たちにも貢献できる研究をしようと決めました

奨学生に求められる資質は

- 学業：学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽を重ね成果をあげる努力をする

- 異文化理解：異なる言語・文化・習慣などを理解する努力をする

- コミュニケーション能力：人間関係による円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受け入れる柔軟な姿勢を持つ

どうやって選ぶのですか？

- 日本の大学・大学院に在籍または在籍予定の外国人留学生（但し日本の国籍を有する者は資格がない）

- 当会が定める指定校の推薦を受けた者

- 学部は３・４年生（医歯獣医学部は５・６年）

- 大学院修士課程１・２年に在籍する者

- 大学院博士課程２・３年（医歯獣医学部は３・４年）に在籍する者に応募資格がある

- 年齢は１９７４年４月１日以降に生まれた者で４５歳未満の者に限られる

指定校って何？

- 毎年４月に、文部科学省が所轄する毎年日本全国の大学とそれに準じる学校（高専等）に対し在学留学生の調査を行いそれをもとに、指定校を選定しています。

- ２５００地区では、２０１９-２０２０年度の指定校は北海道教育大学旭川分校・旭川大学・旭川医科大学・帯広畜産大学・北見工業大学・東京農業大学オホーツクキャンパス・稚内北星学園大学です

どのように選抜するの？

- 指定校から応募された留学生に対して
- 選考試験日程を案内
- 書類審査および面接試験を行い選抜する
  （**12月8日**・次年度）

今年度奨学生の内訳

- 中国3名・旭川南RC（9月で終了）、帯広北RC、北見西RC
- 韓国1名・富良野RC
- インドネシア1名（海外応募）帯広RC
- タイ1名（海外応募）帯広西RC
- ケニア1名・帯広南RC
- マレーシア1名・北見RC
- パラグアイ1名・網走西RC・米山記念奨学会でも初めて受け入れた国の奨学生です
- ベトナム1名・網走RC
- ネパール1名・稚内RC（8月で終了）

次年度は何名を採用する？

- 今年度は９名です
- 現在２年間の奨学金を支給する学生が２名いますので、次年度の選抜は７名です
- 採用枠は２年前（成瀬G年度）の寄付総額および寄付者割合で算出されます

米山記念奨学会に対する寄付が増えて、
指定校が増えれば奨学生がより多く
のロータリアンと交流が可能になる

米山奨学生とロータリー活動

米山記念奨学生の果たす義務

- 世話クラブであるロータリークラブの例会へ毎月１回以上は出席する

- 年２回奨学生レポートを本部に提出する

- 例会での卓話を行い、世話クラブおよび地区のロータリー活動に積極的に参加し、ロータリアンとの交流を通して相互理解を深める努力をする

今後の予定

- ９月にカウンセラー会議を行います
- クラブとの関係や奨学生の生活状況など確認します
- 地区大会でのプログラムの確認と米山月間での卓話など積極的にロータリー活動に参加するよう促します
- 地区大会に参加し、ロータリアンの皆様方にご紹介します

米山奨学事業は

- **カウンセラーと世話クラブが結果を左右させます**
  - 世話クラブのロータリー活動を通して徐々に育まれるロータリー精神
  - カウンセラーさんと奨学生との関係（互いの文化を共有）息子や娘ときには弟や妹のようにロータリーファミリーとして絆が生まれていく
  - 世話クラブのカウンセラーさんの熱い想いの一滴が奨学生の心に徐々に浸透し、やがて世界の懸け橋になる人材として成長をしていくことになる

今も続く奨学生との絆

謹んで新年のお祝いを申し上げます。
旧年中はいろいろとお世話になりました。
本年もよろしくお願いします。

中国 上海
楊照宇
左紅英
楊暐然(5歳)
2014年1月1日

米山月間にむけて

- 奨学生や地区の委員に卓話を依頼して下さい
- 地区大会で米山奨学生と是非話しをして下さい
- 一人でも多くのロータリアンの皆様方に米山奨学事業に御理解ご支援をいただき、応援していただきたいと思います

1年間よろしくお願いします。